



平成 25 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 日本コンクリート工業株式会社
代 表 者 名 取締役社長 網谷 勝彦
(コード番号 5269 東証第1部)
問 合 せ 先 執行役員経理部長 今井 昭一
(TEL 03-5462-1022)

2013 年中期経営計画の策定について

当社は、平成 26 年 3 月期を初年度とする「2013 年中期経営計画」(平成 25 年度～平成 26 年度)を策定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

当社グループは、2010 年中期経営計画(平成 22 年度～平成 24 年度)(以下「10 中経」といいます。)の目標をほぼ達成したことにより、当社グループの経営基盤は着実に強化されております。

一方、世界経済は、アジア新興諸国が経済発展期を迎え、国内経済では、昨年 12 月の政権交代により、長引くデフレ経済脱却への期待が高まる等、国内外の情勢は大きな転換期を迎えようとしており、当社グループの経営環境も東日本大震災以降、大きく変化しております。

当社グループは、これらの経営環境の変化を新たなチャンスと捉え、スピード感を持って対応することが重要との認識に立ち、新たな計画策定において、「10 中経」の基本方針と成果を継承・発展させるとともに、先行き不透明感から従来の計画期間を 1 年短縮し、平成 25 年度から平成 26 年度の 2 ヶ年を計画期間とする、2013 年中期経営計画(以下「13 中経」といいます。)を策定しました。「13 中経」では「新たな企業基盤の確立による成長の持続」を中期経営方針と定め、「コア事業の強化」、「新規事業の推進」、「海外事業の展開」の重点課題につき、諸施策を実施し、足元の経営課題の克服と新たな成長を目指してまいります。

なお、当社は、本計画策定にあたり、経営理念を『コンクリートを通して、安心・安全で豊かな社会づくりに貢献する』と改め、当社グループの使命(存在意義)を再確認しております。

重点実施策

(コア事業の強化)

コンクリートポール・パイルや PC-壁体、RC セグメント等の主力製品において、生産性の向上や徹底したコスト削減により、競争力の向上に努めてまいります。また、製品・工法の品揃えの充実を図るとともに、施工部門、代理店との連携を強化し、既存顧客の囲い込みと新規顧客の獲得を図ってまいります。

(新規事業の推進)

「環境事業」、「ポアセル事業」、「不動産事業」において、長年培った技術力、ノウハウを活かすとともに、新たなビジネスモデルの構築や経営資源の有効活用を推進し、事業規模の拡大を目指してまいります。

(海外事業の展開)

アジア新興諸国の経済発展によるインフラ需要の拡大を、新たなビジネスチャンスと捉え、組織体制を整備し、技術・資本輸出等を積極的に展開することにより、これらの需要の取り込みを図ってまいります。

経営数値目標

	2012年度(実績)	2014年度(計画)
売上高	362.8億円	400億円
経常利益 (経常利益率)	18.8億円 (5.2%)	19億円 (4.8%)
総資産経常利益率 (ROA)	3.6%	3.5%
配当金	4.5円/年	5.0円/年
投資額(2年間)	29億円	50億円～60億円(注)

(注) 2013年度～2014年度の2年間の総額
 ・通常設備投資額 20億円(10億円/年×2年)
 ・プロジェクト投資額 30億円～40億円

以上